

東京開業ワンストップセンターは、会社設立に必要な各種手続にワンストップで対応する相談窓口です。2017年には渋谷と丸の内にサテライトセンターも開設、より利用しやすくなりました。今回は起業家のお一人、トリプル・リガース合同会社の丸山亜由美さんに、お話を伺いました。

利用者 リレーインタビュー

軸は、自分にとってベストを選ぶこと。

「人生が2回あったら美大に行きたい」

と言っていた自分を変えたのは、糖尿病でした。今は「人生100年時代」と言われていますが、20歳での発症は病と共に過ごす期間の存在を自分自身で感じ、働き方を見直すきっかけとなりました。そして、やりたいことを先送りする生き方に終止符を打つ決断を早めてくれました。「働き方改革」が推進され、昔よりも好きなことを仕事にし、より自由な働き方を選択できるように時流や世間の価値観が変化しています。中でも、糖尿病と向き合いながら自分の健康も大切に作る働き方は、自分で全ての意思決定ができる「起業家」こそ実現できる、と気づいたのです。

自分ですべての意思決定ができる「起業家」として、好きなことをやる。

美大に行くまでは、「患者さんのために何かをしたい」という思いから、グローバルな製薬会社で勤務していました。入社2年目にはトップセールスになったのですが、その年に一番売れたのが「デザインコンセプトの優れた機械」。楽しいからほしい、と言って買ってくださるお客様の声を聞いて、その時「デザイン」の価値を知りました。

しかし、いつしか目標は「売上」となり、大企業の意味決定には携わることができない歯がゆさを感じるようになりました。せっかくお客様がご購入を決めてくださった製品も、企業として販売ストップの意思決定が下されることがある。そして、自分の初心とはどんどん離れてしまうような売上目標の設定。

「すべての意思決定を自分で言い、そのすべての責任を私自身が取りたい」という思いは、次第に強くなっていきました。

自分の意思と、やりたいことを追い求めるための「合同会社」。

起業するにあたって最初に立てた方針は、「資金調達をせずに、自分一人が社員で、自己資金100%で会社を経営すること」。資金を入れてスケールアップすることは、自分がやりたいこととは違う。他者が資金面で介在することで、自分が本来目指してきた起業の姿を見失う可能性もある。私には、株式会社としての信頼が大事なのではなく、私自身が提供するデザインなどのクリエイティブの内容自体が大事。多面的に自分を眺め、何が自分にとってベストかを選ぶ中で、私は合同会社を設立することにしました。

起業なんて、はじめは思ってもみなかったこと。けれど、小さな成功体験が積み重なって自信ができました。トップセールスになったことも、ヘルスケア関連の賞や、ビジネスコンテストでの優秀賞、Tokyo Startup Gateway 2018での優秀賞をいただいたことも。自分自身の活動を応援して下さる方々がいることは、とても嬉しいことです。

また、「起業家の卵」を対象にしたプログラムに複数参加し、そこで出会ったメンターや仲間からかけられた言葉が、自分とプロジェクトを形成していきました。

都内の起業支援施設を伝って、見つけたTOSBEC。

起業家を支援するプログラムに参加していると、東京都にあるさまざまな創業支援施設とのつながりに恵まれました。Startup Hub Tokyoや東京創業ステーション等の創業支援施設に通っていた時に、知ったのが東京開業ワンストップセンター（TOSBEC）。資金調達はしないと決めていたので、法人設立時にかかるコストはできるだけ抑えたいと考えていた私にはぴったりでした。

法人登記は司法書士さんにお任せをすることなく、TOSBECのサポートを受けながら自力で行い、定款は電子認証という形をとりました。その時に、若いスタッフの方々に電子認証のサポートをしていただいたのが、ありがたかったですね。



Profile

トリプル・リガース合同会社代表
丸山 亜由美さん

トリプル・リガース合同会社代表・丸山亜由美さん。20歳で発症した糖尿病を原体験として、アートの介在するヘルスケアサービスを通じて人々の行動変容につながるコミュニケーション・デザインを行うビジネスを立ち上げ。経済産業省主催「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト」アイデア部門を優秀賞、Tokyo Startup Gateway 2018 優秀賞を受賞する等、一つひとつの成功体験を着実に法人設立に結びつけた。

心がめげそうな起業手続。励ましてくれたのは、外国人起業家の姿。

ただ、生まれて初めての法人登記なので、聞きなれない言葉だけで、記載ミスをするかもしれない。心がめげそうになることもありました。そんな時に励まされたのが、海外から日本に移住して法人設立を目指す外国人起業家の姿です。

外国語で生活をするのは大変なこと。1年間のドイツ留学中に、日常の簡単なことでも伝わらないもどかしさがわかるからこそ、日本語の書面の開業手続に挑戦している外国人起業家の皆さんには感銘を受けました。「海外の方が日本で起業するハードルに比べたら、日本人の私が日本で起業することはなんてことはない。頑張らなくては！」と思えました。

自分の原体験となった糖尿病も、営業として意思決定ができない歯がゆさを感じた経験も、起業手続も、自分が体験したからこそ、当事者としての気持ちがわかります。これからも、当事者として事業と、デザイン、アートにかかわりながら、人々の行動変容につながる活動をさらに加速させ、続けていきたいです。

One point advise



外国人起業家が多く訪れるTOSBEC受付の、スタッフさんのバイリンガル対応は、素晴らしかったです。私もいつか東京だけでなく、世界で会社を展開できたらと思います。

東京開業ワンストップセンター
(TOSBEC)

住所 東京都港区赤坂 1-12-32

アーク森ビル JETRO 本部 7階

電話 03-3582-8352 FAX : 03-5561-4123

URL <http://www.seisakukikaku.metro.tokyo.jp/onestop/japanese/top/>